

ひとりだち

きこえとことばの
支援センターだより
R6年 9月号



みみの助

〈巡回きこえとことばの学習会〉

夏季休業中に、瑞浪市、養老町、安八町にて巡回きこえとことばの学習会を実施しました。各地域の園小中学校教員、聴覚障がい児に関わる関係者の方が対象者で、3つの会場合わせて約70名の参加申込がありました。

講師には、愛知教育大学特別支援教育講座教授の岩田吉生先生をお招きし、「きこえに困難のある子どもの指導と支援～ユニバーサルデザインと個別最適化を目指す指導の在り方～」との演題にて、聴覚障がい児のきこえの理解、就労、認知、ユニバーサルデザイン等、幅広くご講話いただきました。そのお話の中で、「聞こえることと、理解できることは異なることを再認識したい」とありました。聞こえる人が音声言語を聴取理解する際、聞くことへの注意が10%、理解60%、記憶30%であるのに対し、難聴の人は聞くことへの注意40%、理解40%、記憶20%である。つまり難聴の方は、聞くことへの注意の負担が大きく、そこにかかなりの集中力を使うため、覚えることが難しくなってしまう場合があるため、「聞き漏らしがあっても理解できる支援」と、「聞きながら、見ながら考える習慣」が大切だと話されました。このことは、参加者の感想にも多く触れられており、『聞きながら、見ながら考える習慣』が大切で、聞くだけでは情報は流れてしまい身に付かない。このことを忘れないように今後の支援に生かしていきたい」との言葉がありました。

7/26 (金) 瑞浪市



7/31 (水) 養老町



8/2 (金) 安八町



10月 業者来校予定日

* ナショナル補聴器センター… 10月 2日、16日 (毎月第1・3水曜日)

* 理研産業 … 10月 9日 (毎月第2水曜日)

場所: 本館1階 補聴相談室

時間: 13時30分~相談が終わり次第終了

※イヤモード作成、補聴器の不具合等の相談は、業者来校日の前に、担任を通じて各部の補聴相談係への連絡後、申し込み用紙の提出をお願いします。